



恵みの記念



あなたたちの神、主は、
あなたたちが渡りきる
まで、あなたたちの
ためにヨルダンの水を
涸らしてくださった。
それはちょうど、我々が
葦の海を渡りきるまで、
あなたたちの神、主が
我々のために海の水を
涸らしてくださったのと
同じである。



すなわちあなたがたの神、
主はヨルダンの水を、
あなたがたのために
干しからして、あなた
がたを渡らせて
くださった。それは
あたかも、あなたがたの
神、主が、われわれの
ために紅海を干し
からして、われわれを
渡らせてくださったのと
同じである。

春。雨と雪解け水でヨルダン川は氾濫寸前まで水位が上昇し、水は死海へと勢いよく流れ込む。ヨルダン川の浅瀬でさえ、川を渡るのは危険な行為だ。

老人、妊婦、子ども、家畜を乗せて村全体がどうやって川を渡れるのでしょうか？

人間には不可能だが、神にとっては簡単だ。
"自分を聖別し、ヨルダンを渡りなさい"。



➡ ヨルダン川を横断する(ヨシュア記 3章):

- ヨルダン川を渡る
- 軌跡を起こされる生ける神

➡ 覚えること、忘れずにいること(ヨシュア記4章):

- 覚えておきなさい
- 忘却

➡ ヨルダン川を越えて



ヨルダン川を横断する (ヨシュア記3章)

ヨルダン川を渡る

ヨシュアは民に言った。「自分自身を聖別せよ。主は明日、あなたたちの中に驚くべきことを行われる。」（ヨシュア記 3:5）

40年間、雲は野営地を出て出発する時を知らせ、箱舟はイスラエルを新たな目的地へと導きました（民9:17、10:33）。



移動の時が来ました。彼らはシッテムで宿営を解散し、ヨルダン川を渡って3日間野営しました。その後、彼らは箱舟を追って約束の地に入るよう命令を受けました（ヨシュア記3:1-3）。

しかし、それには前提条件がありました。彼らは聖別されなければなりませんでした（ヨシュ 3:5）。この聖別には、儀式的な清め（衣服と体を洗うこと）、罪を捨てること、そして神の戒めに従順に従う行動が含まれていました。



契約の箱の後続く



神に従う（十戒）



神の配慮に信頼する
（マナの入った器）



神によって任命された
指導者を敬う
（アロンの杖）

神はいつでもヨルダン川の水を分けられる
わけではありませんし、
神の介入は必ずしも明白ではありません。
私たちのために神が介入してくださることを
経験し、見分けるための霊的備えを、
私たちはどうしたらできると思いますか。

奇跡を起こされる生ける神

川上から流れてくる水は、はるか遠くのツアレタンの隣町アダムで壁のように立った。そのため、アラバの海すなわち塩の海に流れ込む水は全く断たれ、民はエリコに向かって渡ることができた。(ヨシュア記 3:16)



ヨルダンの横断は神の驚異のひとつであり、神が私たちに約束してくださったもうひとつの偉大な驚異、すなわち天のカナンに入ることを預言的に指し示している(ゼカ8:6-8)。

神は「不思議なことをなさる方」(詩72:18)である。それゆえ、私たちはこの方を唯一の神と認め(詩86:10)、その不思議を覚え(詩77:11)、その驚くべき行いを語り継ぐ(詩96:3)。

万物を創造された方にとって、難しすぎることも、素晴らしすぎることもない(エレ32:17、ルカ1:37)。だから私たちは、主が私たちの人生にも奇跡を起こすことができると信じることができる(詩107:8)。



ルカ 18:18～27 を読んでください。

18:18 ある議員がイエスに、「善い先生、何をすれば永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と尋ねた。**18:19** イエスは言われた。「なぜ、わたしを『善い』と言うのか。神おひとりのほかに、善い者はだれもいない。**18:20** 『姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証するな、父母を敬え』という掟をあなたは知っているはずだ。」

18:21 すると議員は、「そういうことはみな、子供の時から守ってきました」と言った。**18:22** これを聞いて、イエスは言われた。「あなたに欠けているものがまだ一つある。持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。

そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

18:23 しかし、その人はこれを聞いて非常に悲しんだ。大変な金持ちだったからである。**18:24** イエスは、議員が非常に悲しむのを見て、言われた。「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。**18:25** 金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」**18:26** これを聞いた人々が、「それでは、だれが救われるのだろうか」と言うと、**18:27** イエスは、「人間にはできない

ことも、神にはできる」と言われた。

弟子たちに対するイエスの答えは、
不可能と思われることでも神を信頼するよう、
あなたをいかに励ましますか。

覚えること、
忘れずにいること
(ヨシュア記 4章)



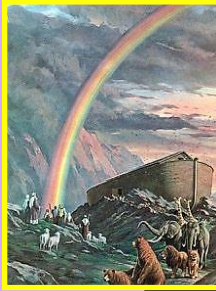
覚えておきなさい

それはあなたたちの間でしるしとなるであろう。後日、あなたたちの子供が、これらの石は何を意味するのですかと尋ねるときには、こう答えなさい。(ヨシュア記 4:6-7a)

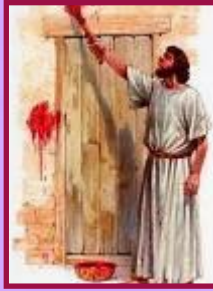
聖書では、しるしにはいくつかの意味があります。



驚異的な
行為
(王上13:3)



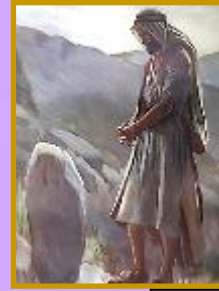
何かの象徴
(創9:13)



警告の印
(出12:13)



特徴的な印
(エゼ20:20)



記念
(創28:18)

ヨシュアがしるしとして立てたヨルダン川から採取した12個の石は、後者のタイプに属する。

記憶そのものだけでなく、神がこれらの石を建てるように求めた目的は何だったのか (ヨシュ4:6-7)。

新しい世代は、神が何をなさったかを知らなければなりませんでした。彼らの信仰は、神の奇跡に基づくものでなければなりませんでした。親には、この知識を子供たちに伝える責任がありました (申 4:9)。この知識をもって、私たち一人一人は自分自身の信仰によって生きなければなりません。



あなたの信仰の歩みにおいて、
主の御業を思い起こす
個人的な記念は何ですか。

忘却

イスラエル人は主の目に悪と映りました。「彼らは彼らの神である主を忘れ、バアルとアシェラに仕えました」（士師記3:7）

ギルガルに12の記念碑を立てるにあたり、ヨシュアは2つの点を強調しました（ヨシュ4:23）。



神は私たち（ヨシュア、カレブ、そしてエジプトから出てきた世代でまだ生きていた少数の人々）の前で紅海を干上がらせました



神はあなたたち（砂漠で生まれ、カナンの地を征服する運命にある新しい世代）の前でヨルダン川を干上がらせました

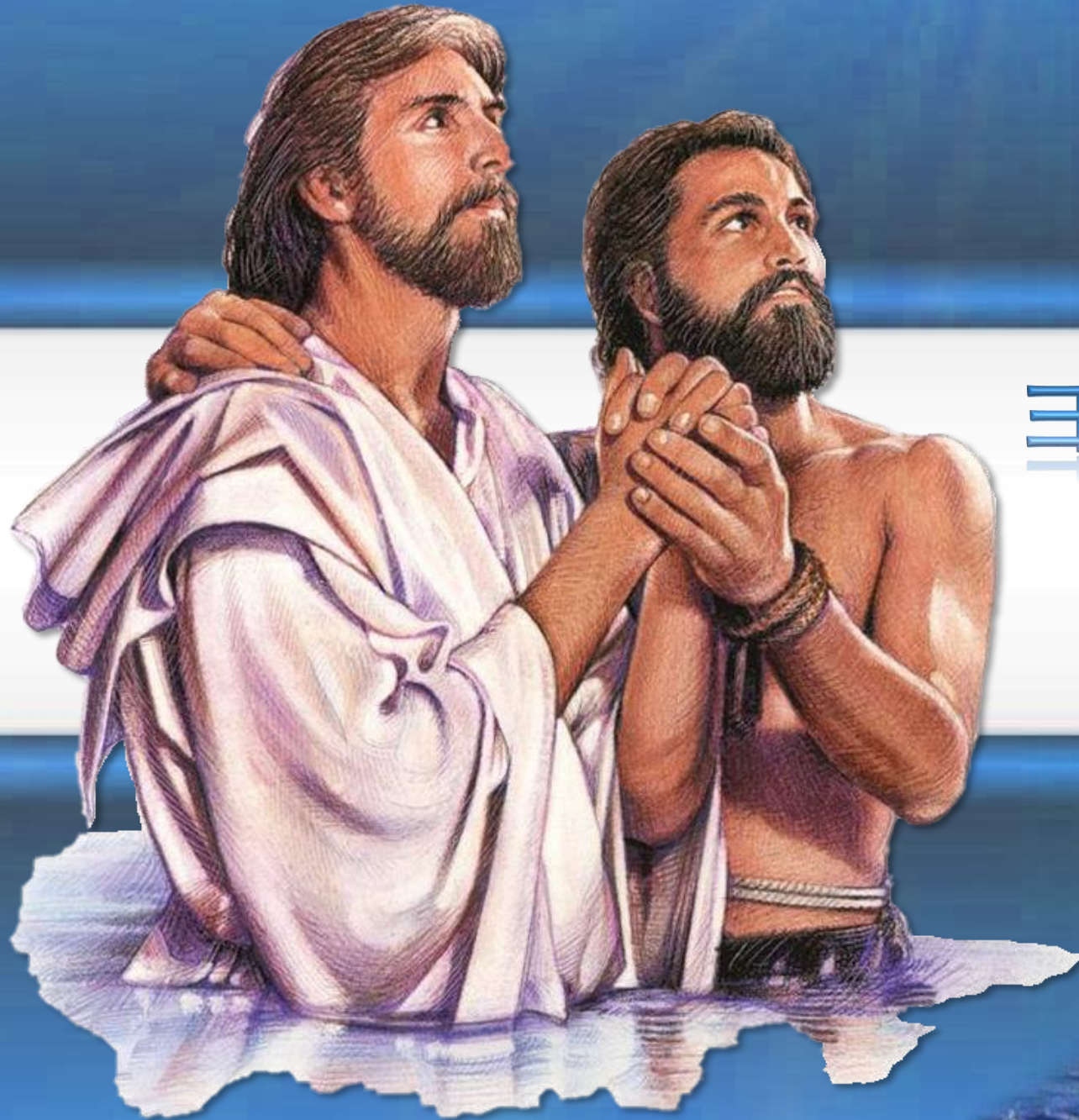


新しい世代は、先祖たちと同じ過ちを犯す危険にさらされていました。それは、神の偉大な業を忘れてしまうことでした。残念ながら、彼らはそれを忘れ、その結果を払うことになったのです（士3:7-8）。

ですから、神が私たちの先祖をどのように気遣ってくださったか、そして神の力強い御手を私たち自身の目を見た瞬間を、私たちの心に新鮮に留めておくことは、どれほど大切なことなのでしょう。



過去を思い起こし、主があなたの人生で
いかに働いてくださったのかを覚えておく
ことは大切ですが、なぜ私たちは、日々、
主と、主の愛と臨在の現実を体験しなければ
ならないのでしょうか。



ヨルダン川を 越えて



「主は海を乾いた土地に変えられた。そこで
私たちは主を喜ぶ。(詩編66:6)

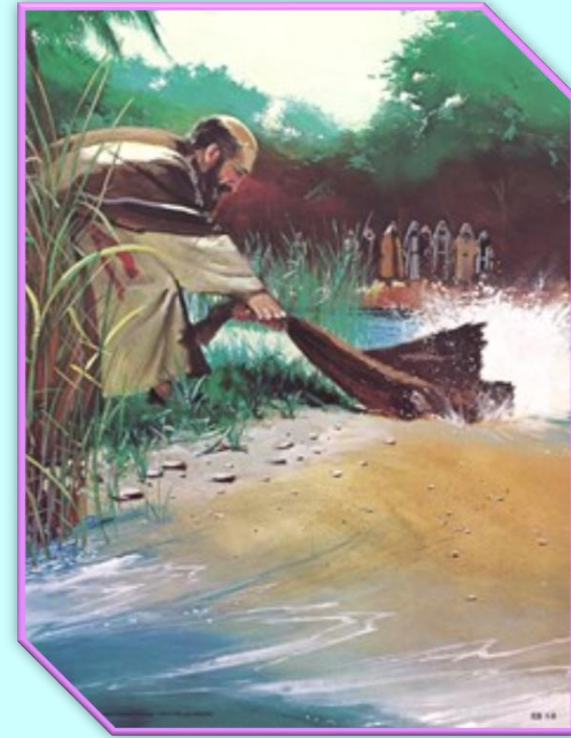
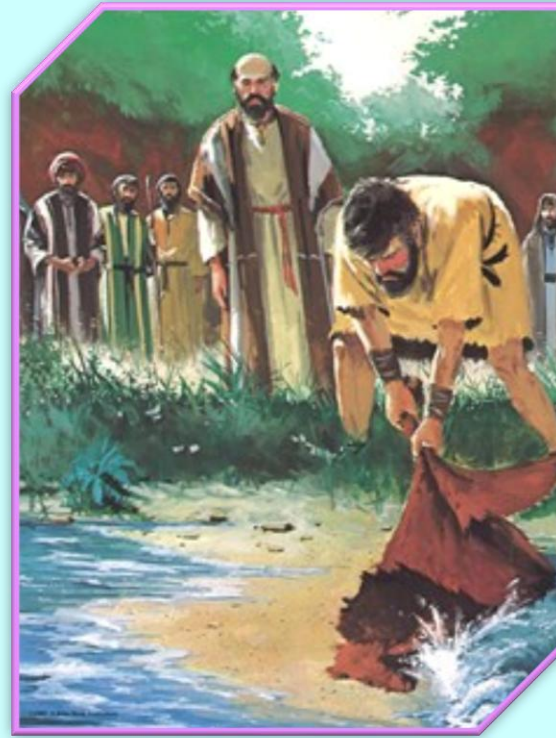
紅海とヨルダン川の渡河は、贖いの歴史における重要な出来事として絡み合ってきました(詩66:6、詩114)。この二つの出来事は、私たちが罪から解放され、永遠の命に至ったことを象徴しています。

奇跡的にヨルダン川を渡り、神の御前に導かれたことは、エリヤにとって現実のことだった(王下 2:1、7、8、11)。

しかし、エリシャにとって、同じ出来事は聖霊を受けたことのしるしであり、それによって彼は使命を全うすることができたのです(王下 2:14-15)。

ヨルダン川に入ることはイエスにも同じ効果をもたらし、イエスは聖霊の力によって、私たちが罪から解放し永遠の命を与えるという使命を果たされました(マコ1:9-11、ヨハ1:29、3:16)。

「海はイスラエルを見て逃げ、ヨルダン川は
引き返した」(詩編 114:3)



マタイ 3:16、17

3:16 イエスは洗礼を受けると、すぐ水の中から上がられた。そのとき、天がイエスに向かって開いた。イエスは、神の霊が鳩のように御自分の上に降って来るのを御覧になった。

3:17 そのとき、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」と言う声が、天から聞こえた。

マルコ 1:9

1:9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。

新約聖書の記者は、ヨルダン川の象徴的、霊的な意味をいかにほのめかしていますか。

「だから主のいつくしみとそのやさしい多くの憐れみとを忘れないようにしよう。イスラエルの民のように、あかしの石を立て、神がわれわれのためにしてくださったことについて、とうとい物語をそれにきざみつけよう。そうして この世の旅路において、主がわれわれをどのように扱われたかをふりかえってみて、感謝にみちた心でこう叫ぼう、「わたしに賜わったもろもろの恵みについて、どうして主に報いることができようか。わたしは救の杯をあげて、主のみ名を呼ぶ。わたしはすべての民の前で、主にわが誓いをつぐなおう」（詩篇116：12～14）。

EGホワイト各時代の希望第36章